

教科等横断型授業「国語」×「地歴公民」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(11番)「住み続けられるまちづくりを」				
実社会での課題	日本では、地方の衰退が著しく、令和4年4月の総務省発表によると、全国の1718市町村のうち過半数の885市町村が過疎に当たるといふ。そのような中、地方に明るい話題をもたらす、活気をもたらすのはどのような事柄か。				
生徒に身に付けさせたい資質・能力	住み続けられるまちづくりのために、まず、自分たちが住んでいる町や通っている学校を見つめなおさせたい。その材料として、大正期の皇太子ご訪問という出来事を記した文章から、町のにぎわいや喜びを読み取ることで、地域に対する誇らしさを感じさせたい。				
主題(教材)	地域の歴史を振り返り、これからの地域活性化について考えよう。				
	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等	
指 導 展 開 程 整 理 備 考	指 入	市制施行から100年を経た宇和島市を見渡し、地域の将来に目を向ける。	5	○ 現在の宇和島市の様子を知り、地域の課題について考えさせる。	○プレゼンテーション資料(宇和島市の現状、市内旧跡)
	展 開	1 100年前の、皇太子殿下(のちの昭和天皇)による宇和島行啓までのいきさつを知る。	5	○ 行啓の実現に寄与した宇和島出身の3人の人物を紹介しその功績を理解させる。	○プレゼンテーション資料(穂積陳重、穂積橋、穂積歌子)
		2 『山村豊次郎伝』を読み解きながら、行啓の順路をたどる。 (1) 来宇まで (2) 宇和島中学校まで (3) 校内の閲覧 (4) 出立まで	20	○ 文語的な文章を丁寧に読み取り、内容を正しく理解させる。 ○ 現在の市街や校舎との違いについて考えさせる。	○『山村豊次郎伝』 ○プレゼンテーション資料及びワークシート(大正期の市街地図、校舎俯瞰図)
		3 皇太子殿下奉迎歌を鑑賞する。	10	○ 奉迎歌に込められた心情を感じ取らせる。	○プレゼンテーション資料(奉迎歌)
	理	穂積陳重氏が宇和島の人々へ向けたメッセージを受け止め、これからの宇和島について考える。	10	○ 地域に活気を取り戻すにはどうすればよいかを考えさせる。	○ワークシート
備 考					